



霜被害・ドローン^{ちよくは}直播の現状を視察

視る



総務産業建設常任委員会

5月12日、総務産業建設常任委員会で農業の現場2ヶ所を視察しました。

4月の霜により、甚大な被害を受けた若宮地区の果樹を視察しました。

当町では、会津身知らず柿とリンゴの被害が確認されております。

支援の在り方について、引き続き協議して参ります。



金上地区でドローン直播を視察しました。

直播とは、地面に直接種をまいて育てる栽培方法で、苗を育てる作業の省力化や、作業時間の短縮などの効果があります。

また、機械の運搬も簡単で、ドローンは肥料散布・防除作業などにも使用できるため、汎用性は高いと近年注目されています。



聴く

未来トーク開催

文教厚生常任委員会

4月27日、障がいを持つ子の保護者の方に、お話を伺いました。

現状として、次の項目が挙げられました。

- ・グループホーム等施設が不足していて将来が不安。
- ・就労の場所、生活介護施設等が不足している。
- ・地域と関わる場所や機会が乏しく、休日は家以外に「居場所」がない。
- ・当事者や支援者の「生の声」が、町の障がい者計画に反映されていない。

地域の理解の重要性和各施設など「居場所」づくりが必要とされていることが分かりました。

町の障がい者等計画策定に向け、不足点や更に強化すべき点を、今後も調査研究して参ります。



今後必要な支援等【要望】

- 発達外来の医療機関の窓口が欲しい。
- 発達障がいについて、親や祖父母を対象に勉強会を開いては。
- 障がいを持つ子を理解し、対応してくれる医療機関、施設であることをシール等で明確に示してほしい。
- 喜びや満足感を得て働ける場所、生活の場所等の「居場所」づくりが必要。
- 学童期から障がい者を含むマイノリティについて、教育の中に組み入れ、障がい者等の理解を促して欲しい。



導入に向け検討が進んでいる中学校の部活動地域移行。変わりつつある中学校の部活動について紹介しています。

今回は坂下中学校剣道部顧問の鈴木先生にお話を伺いました。



「千鍛万錬」

坂下中学校剣道部の部員数は、令和2年度9名、令和3年度11名、令和4年度8名でしたが、令和5年度は15名と増加傾向にあります。現在の剣道部は、中学校から剣道を志した部員が大半です。

部員には、歴史的に名高い会津という地で剣道に取り組んでいる事を、誇りに感じながら、千鍛万錬^{せんたんぼんれん}、日々の稽古に精進してほしいです。

会津坂下町には、伝統と実績を兼ね備えた律心館道場があります。道場で指導されている和田至法先生^{よしのり}には、お時間の都合がつく平日の放課後、部員に稽古をつけて頂いています。

地域の方々のご支援は非常に有り難く、多くの方々に坂下中学校の剣道場に足を運んで頂きたいと考えています。



坂下中学校 剣道部顧問
すずき けいいち
鈴木 恵一 先生

6月の中体連大会前、剣道部で諏訪神社に必勝祈願をしてきました。生徒は、町内を剣道着姿で歩くのが少し恥ずかしかったのかもしれませんが、私はそれが皆の1番輝いている姿だと思っています。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、停滞が続いていた人々の流れも徐々に回復傾向にあると感じています。その裏側では戦争などによる物価高騰で、様々な経済的影響が私たちの負担になっており、早々の回復を心から願っています。

当町は令和5年度を「あたらしいまちづくり元年」と位置付けました。議会としても人口減少対策等に取り組み、将来にわたり住み続けたいと感じられるまちづくりを実現するため、町民の皆様から多くのご意見をいただき、皆さんと一緒に造り上げたいと思います。
(目黒 克博)

広報広聴特別委員会

委員長	小畑 博司
副委員長	横山 智代
委員	目黒 克博
委員	蓮沼 文明
委員	物江 政博